

平成22年3月期 第1四半期決算短信(非連結)

平成21年7月24日

上場取引所 東名

上場会社名 養命酒製造株式会社
 コード番号 2540 URL <http://www.yomeishu.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長
 四半期報告書提出予定日 平成21年7月31日
 配当支払開始予定日 —

(氏名) 塩澤 太郎
 (氏名) 田中 英雄

TEL 03-3462-8125

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第1四半期の業績(平成21年4月1日～平成21年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	3,143	△13.0	572	△25.0	687	△22.2	428	△22.1
21年3月期第1四半期	3,615	—	763	—	883	—	550	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第1四半期	13.57	—
21年3月期第1四半期	17.36	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第1四半期	34,838	31,281	89.8	989.83
21年3月期	34,925	31,100	89.0	984.06

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 31,281百万円 21年3月期 31,100百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	—	—	18.00	18.00
22年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期(予想)	—	—	—	18.00	18.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期累計期間	6,770	1.3	1,190	0.6	1,320	△0.7	810	△1.4	25.63
通期	13,910	1.3	2,220	△5.6	2,450	△6.3	1,470	△15.0	46.51

(注) 業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】「4. その他」をご覧ください。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- | | |
|-----------------|---|
| ① 会計基準等の改正に伴う変更 | 無 |
| ② ①以外の変更 | 無 |

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第1四半期	33,000,000株	21年3月期	33,000,000株
② 期末自己株式数	22年3月期第1四半期	1,397,165株	21年3月期	1,395,823株
③ 期中平均株式数(四半期累計期間)	22年3月期第1四半期	31,603,205株	21年3月期第1四半期	31,708,611株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

予想は現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後様々な要因により異なる可能性があります。業績予想に関する事項につきましては、4ページ【定性的情報・財務諸表等】「3. 業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

【定性的情報・財務諸表等】**1. 経営成績に関する定性的情報**

当第1四半期(平成21年4月1日から平成21年6月30日まで)におけるわが国経済は、昨年来の世界的な金融危機・景気後退の影響を受け、企業業績の悪化や設備投資の縮小を背景に雇用情勢は厳しさを増し、生活防衛意識の高まりによる個人消費の低迷等、先行き不透明なまま推移いたしました。

当社の関連業界におきましては、生活者の節約志向の高まりや改正薬事法の施行による業種・業態を越えた企業間競争のさらなる激化、流通業界の再編等、予断を許さない情勢が続いております。

このような状況の中で、当社は、「生活者の信頼に応え、豊かな健康生活に貢献する」ことを経営理念とし、「少子高齢化社会に即した成長戦略の実現により企業価値を高める」ことを基本方針に、第2次中期経営計画(平成19年4月から平成23年3月まで)の主要戦略である「新たな成長事業の推進」の具現化に向けた各施策に積極的に取り組むとともに、「養命酒」事業の収益構造の維持に努めました。

「新たな成長事業の推進」の各施策につきましては、長野県諏訪市における新たな事業の展開を目指し、5月に健康生活提案型複合施設の建設に着工いたしており、また、今秋には、大正製薬株式会社との共同開発によるドリンク剤の一部地域における先行販売を開始する予定です。

当第1四半期の「養命酒」事業につきましては、より効率的かつ効果的なマーケティング活動の展開に向け各施策の費用対効果等の再検証に着手するとともに、テレビや新聞、ウェブ等を中心とした様々な媒体を効率的に活用し、「疲れ」や「胃腸虚弱」の改善に対する提案を行い、広告と連動した店頭における販売促進活動を引き続き展開いたしました。これらのトータルマーケティング活動の継続的展開により、東洋医学における「未病」という概念への理解は浸透してきたものの、4月及び5月の店頭販売促進活動は、6月1日施行の改正薬事法への対応準備の影響等もあり、期待通りの効果を得ることができず、「養命酒」の国内売上高は3,018百万円(前年同期比12.4%減)となりました。

海外につきましては、既存の東南アジア諸国を中心として各国の市場環境に即したマーケティング活動を展開するとともに、「養命酒」の理解と知名度の向上に向け、店頭における販売促進活動の強化に着手いたしましたが、消費環境が低迷する中、「養命酒」の売上高は53百万円(前年同期比36.6%減)となりました。

ナチュラルミネラルウォーター「養命水」につきましては、引き続き取扱店の確保に努めました。また、インターネット通信販売サイト「養命酒本舗」につきましては、取扱商品の見直しや定期購入者の維持・確保に努めました。

以上の結果、主力商品「養命酒」の売上に不動産賃貸料及びその他の売上を合算いたしまして、その売上高は3,143百万円(前年同期比13.0%減)となりました。また、利益面につきましては、営業利益は572百万円(前年同期比25.0%減)、経常利益は687百万円(前年同期比22.2%減)、四半期純利益は428百万円(前年同期比22.1%減)となりました。

2. 財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期末における総資産は前期末に比べ87百万円減少し、34,838百万円となりました。

流動資産は前期末に比べ963百万円増加し12,863百万円となりました。これは現金及び預金が1,188百万円、受取手形及び売掛金が325百万円それぞれ増加した一方で、有価証券が償還等により799百万円減少したことなどによるものであります。

固定資産は前期末に比べ1,050百万円減少し21,974百万円となりました。これは主に投資有価証券が1年内償還予定の国債の流動資産への振替等に伴い963百万円減少したことによるものであります。

負債は前期末に比べ268百万円減少し3,556百万円となりました。

流動負債は前期末に比べ532百万円減少し、2,059百万円となりました。これは主に、未払法人税等が296百万円、賞与引当金が130百万円それぞれ減少したことによるものであります。

固定負債は前期末に比べ263百万円増加し、1,497百万円となりました。これは主に、繰延税金負債が199百万円増加したことによるものであります。

純資産は前期末に比べ181百万円増加し31,281百万円となりました。これは主に利益剰余金が140百万円減少し、その他有価証券評価差額金が322百万円増加したことによるものであります。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前年同期に比べ96百万円減少し、4,348百万円となりました。

営業活動の結果減少した資金は、393百万円(前年同期比4.1%増)となりました。これは主に税引前四半期純利益686百万円、賞与引当金の減少額130百万円、売上債権の増加額325百万円、法人税等の支払額562百万円によるものであります。

投資活動の結果減少した資金は147百万円(前年同期は239百万円の増加)となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出146百万円によるものであります。

財務活動の結果減少した資金は570百万円(前年同期比0.2%減)となりました。これは主に配当金の支払額569百万円によるものであります。

3. 業績予想に関する定性的情報

平成21年3月期決算短信(平成21年5月12日公表)において発表いたしました業績予想に変更はありません。

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 棚卸資産の評価方法

棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

② 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して

算定する方法によっております。

③ 法人税等の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

- (2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更
該当事項はありません。

5. 【四半期財務諸表】
 (1) 【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	当第1四半期会計期間末 (平成21年6月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,778,054	3,589,816
受取手形及び売掛金	3,181,286	2,856,104
有価証券	3,600,588	4,400,341
商品及び製品	393,555	343,894
仕掛品	165,717	162,224
原材料及び貯蔵品	328,684	282,242
その他	415,453	265,071
流動資産合計	12,863,339	11,899,696
固定資産		
有形固定資産	7,126,026	7,160,542
無形固定資産	186,251	204,291
投資その他の資産		
投資有価証券	10,927,136	11,890,763
その他	3,738,163	3,772,835
貸倒引当金	△2,899	△2,899
投資その他の資産合計	14,662,400	15,660,698
固定資産合計	21,974,678	23,025,532
資産合計	34,838,017	34,925,229
負債の部		
流動負債		
買掛金	287,797	253,115
未払法人税等	268,985	565,714
賞与引当金	129,559	260,156
その他	1,373,112	1,512,737
流動負債合計	2,059,454	2,591,723
固定負債		
繰延税金負債	483,025	283,057
役員退職慰労引当金	50,850	50,850
その他	963,240	899,301
固定負債合計	1,497,116	1,233,208
負債合計	3,556,571	3,824,931
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,650,000	1,650,000
資本剰余金	676,680	676,680
利益剰余金	29,805,050	29,945,190
自己株式	△1,591,133	△1,589,918
株主資本合計	30,540,597	30,681,952
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	740,849	418,345
評価・換算差額等合計	740,849	418,345
純資産合計	31,281,446	31,100,297
負債純資産合計	34,838,017	34,925,229

(2)【四半期損益計算書】
【第1四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
売上高	3,615,281	3,143,862
売上原価	1,109,627	971,181
売上総利益	2,505,654	2,172,680
販売費及び一般管理費	1,741,667	1,600,020
営業利益	763,987	572,660
営業外収益		
受取利息	18,891	17,219
受取配当金	102,661	89,896
その他	8,204	15,749
営業外収益合計	129,757	122,865
営業外費用		
支払利息	8,795	8,048
その他	1,672	47
営業外費用合計	10,467	8,096
経常利益	883,277	687,430
特別損失		
固定資産除却損	15,564	976
特別損失合計	15,564	976
税引前四半期純利益	867,712	686,453
法人税、住民税及び事業税	327,000	271,000
法人税等調整額	△9,643	△13,282
法人税等合計	317,356	257,717
四半期純利益	550,356	428,735

(3)【四半期キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	867,712	686,453
減価償却費	182,394	178,992
賞与引当金の増減額(△は減少)	△128,479	△130,597
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△32,750	—
受取利息及び受取配当金	△121,552	△107,116
支払利息	8,795	8,048
有形固定資産除却損	15,564	976
売上債権の増減額(△は増加)	△673,140	△325,181
たな卸資産の増減額(△は増加)	18,355	△99,596
仕入債務の増減額(△は減少)	△18,538	34,681
未払費用の増減額(△は減少)	△104,374	△168,796
未払消費税等の増減額(△は減少)	82,183	△9,733
その他	△29,700	20,884
小計	66,470	89,015
利息及び配当金の受取額	115,304	99,425
利息の支払額	△21,687	△19,631
法人税等の支払額	△538,475	△562,724
営業活動によるキャッシュ・フロー	△378,388	△393,914
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	200,000	—
有価証券の償還による収入	300,000	—
有形固定資産の取得による支出	△247,796	△146,574
無形固定資産の取得による支出	△12,305	—
投資有価証券の取得による支出	△895	△900
投資活動によるキャッシュ・フロー	239,002	△147,474
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	1,050,000	1,050,000
短期借入金の返済による支出	△1,050,000	△1,050,000
自己株式の取得による支出	△421	△1,214
配当金の支払額	△571,065	△569,159
財務活動によるキャッシュ・フロー	△571,487	△570,373
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△710,872	△1,111,762
現金及び現金同等物の期首残高	5,155,388	5,459,816
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,444,515	4,348,054

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

6. その他の情報

生産、受注及び販売の状況

売上高明細表

(単位：千円)

内 訳	前第1四半期累計期間 自平成20年4月1日 至平成20年6月30日		当第1四半期累計期間 自平成21年4月1日 至平成21年6月30日		前事業年度末 自平成20年4月1日 至平成21年3月31日	
	数 量	売上金額	数 量	売上金額	数 量	売上金額
養 命 酒	K L 2,357	3,527,854	K L 2,053	3,071,260	K L 9,012	13,408,542
(うち輸出分)		(84,010)		(53,226)		(548,477)
不 動 産 収 入		40,173		37,521		160,027
そ の 他		47,253		35,080		166,414
合 計		3,615,281		3,143,862		13,734,984

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。